

News Release



総務部(広報担当)
大津市晴嵐二丁目7番1号 〒520-8639
Tel. 077(537)1702(直)

2011年4月18日

スマートフォンなどのカバーガラス向けに 化学強化専用ガラスの量産を開始

日本電気硝子株式会社(本社:滋賀県大津市、社長:有岡雅行)は、このほど、スマートフォンやタブレットPC等の携帯型端末のカバーガラスとして使用される化学強化専用ガラスCX-01™の量産をフロート法により開始しました。フロート法による同ガラスの成形技術は、プラズマディスプレイパネル用の基板ガラスなどの製造を通じて得た技術を活用したものです。

需要が急増している携帯型端末は、画面にタッチパネルが搭載されたものが主流となっています。取り扱いが手軽になった反面、タッチパネル操作時に表面に傷がついたり、落下の衝撃でパネル表面が破損したりするなどのおそれがありました。これらを解決するため、割れにくい強化ガラスがカバーガラスとして使用されます。従来、この分野では、ソーダライムガラスに化学強化処理をしたガラスが一般的に使用されてきましたが、最近では、より強度が高く、傷に強い化学強化専用ガラスが使われるようになり、携帯型端末市場の拡大とともに、その需要が急速に増加してきました。先行するメーカーによるカバーガラスの供給が既に行われています。

当社は、既発品と同等の特性を有し、タッチパネル用のカバーガラスとして最適な特性を有する化学強化専用ガラスCX-01™を開発、昨年よりサンプル出荷をしてまいりましたが、この度、旺盛なカバーガラスの需要に対応するため、効率的な大量生産が可能となるフロート法を採用し、CX-01™の量産を開始したものです。

CX-01™は、高強度で耐傷性に優れるほか、ヒ素、アンチモン、鉛等の環境負荷物質を含まないグリーンな材質であることが特長です。

当社としては、拡大する携帯型端末用カバーガラスの需要に対応しながら拡販を図るとともに、将来的には大型画面向けへの展開も視野に入れてまいります。

以上

(リリース内容に関するお問い合わせ先)

日本電気硝子株式会社

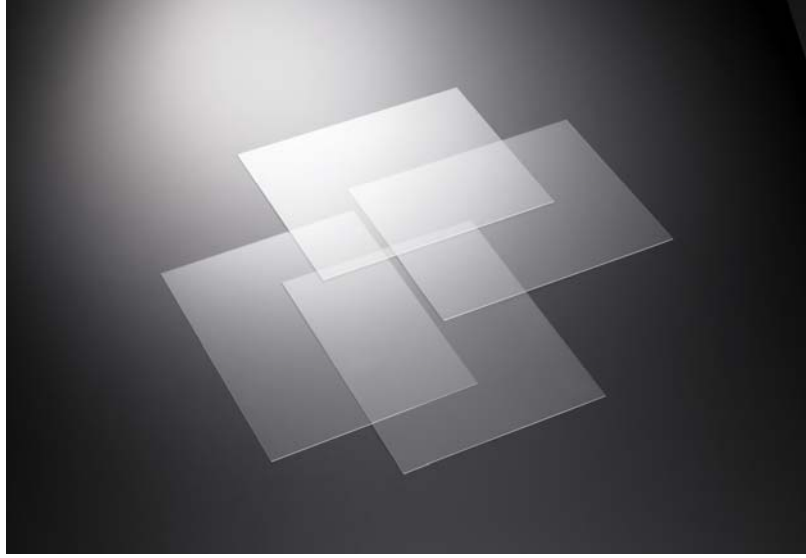
総務部 広報担当(松田、千坂)

電話:077-537-1861

(製品に関するお問い合わせ先)

電子部品事業本部営業部(田中(宏))

電話:077-537-8767



化学強化専用ガラス **CX-01**TM